

感染症発生状況

平成30年2月7日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年1月29日（月）～2月2日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 778名

1日あたりの延べ欠席者数 156名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 183名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（215名）、咳・鼻水（43名）、下痢・腹痛（26名）、嘔気・嘔吐（20名）

疾病ごと インフルエンザ（285名）、水痘（47名）、溶連菌感染症（29名）、

胃腸炎（ノロウイルス1名、その他17名）

各種感染症が流行中です。発熱がインフルエンザによるものとは限らないことに注意してください。

マイコプラズマ感染症、水痘、おたふくかぜ、RSウイルス、溶連菌感染症等流行しています。

発熱があった際は早めに帰宅しましょう。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山、厨川、盛南、河南地区で減少。河北、都南地区で増加しました。

水痘 河北地区で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、盛南、河南地区で微減。都南地区で増加しました。

胃腸炎 厨川地区で微減。河北、盛南、河南、都南地区で微増しました。

【県の状況（1/15～1/21）】

インフルエンザは県内すべての地区で警報値（定点当たり患者数30人）を超えました。この週は5～14歳の割合が増加しており、学校等の休業措置も相次いでいます。また、医療機関からの報告では今シーズンはA型よりもB型が多い状況が続いています。一度かかった人がその後、別の型にかかることもあるので、注意が必要です。症状がある場合は無理をして学校や職場に行かず、早めに受診することが勧められます。発症後3～7日間はウイルスを排出することから、熱が下がった後もマスクの着用をはじめとした咳エチケットを継続することが重要です。

溶連菌咽頭炎は盛岡市及び二戸地区で警報値（同8人）を超えました。肺炎や腎炎などの合併症を引き起こすこともあるので、治療の際は医師の処方に従い抗菌薬を飲みきることが必要です。予防には手洗いやうがいの励行と、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】